

基本構想

- 1. まちづくりの基本理念 88
- 2. 将来都市像 88
- 3. 人口推計 89

基本構想は、本町の今後のまちづくりの普遍的な方向性と理念を示すものです。このため、本町ので勢や環境、これまでのまちづくりの経過を踏まえたうえで、「まちづくりの基本理念」を定め、その内容を包含した「将来都市像」を設定します。

1. まちづくりの基本理念

第5次苅田町総合計画の計画期間である今後10年間の「まちづくりの基本理念」として、次の3つを定めます。

- (1) 産業都市としての発展を基軸としながらも、先人から受け継いだ貴重な歴史、伝統・文化、自然などを継承し、誰もが安心して、心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。
- (2) 多様な課題に対応するため、みんなで力を合わせて、次世代にも継承していける持続可能なまちづくりを進めます。
- (3) 「苅田らしさ」を創造し、苅田町に関わる様々な主体にとって、魅力があり住みやすく感じられるまちづくりを進めます。

2. 将来都市像

町民の8割が住みやすさを実感しており、現状でも一定程度「住みやすいまち」といえるところであるため、その点を町外の方に向けてアピールして転入促進を狙うとともに、「もっと快適」「もっと住みやすいまち」になることを目指します。

そうすることで、町、住民、企業、学生、障がいのある人、高齢者、外国人、各団体など、本町に関わる「一人ひとり」が個性を活かし、元気・健康・いきいきとした「輝く」存在となることを目的として、「将来都市像」を定めます。

「一人ひとり」が輝く
「もっと」快適 住みやすいまち 苅田

3. 人口推計

第5次苅田町総合計画期間である今後10年間の行政需要を予測し、行政経営の指針として活用することを目的に以下のとおり推計します。

■人口推計にあたって考慮すべき事項とそれを踏まえた人口推計の考え方

北九州空港開港以降、工業団地での企業誘致や業容拡大により、平成22年～平成31年で雇用者数が大幅に増加し、苅田町の人口増加に大きく貢献しました。

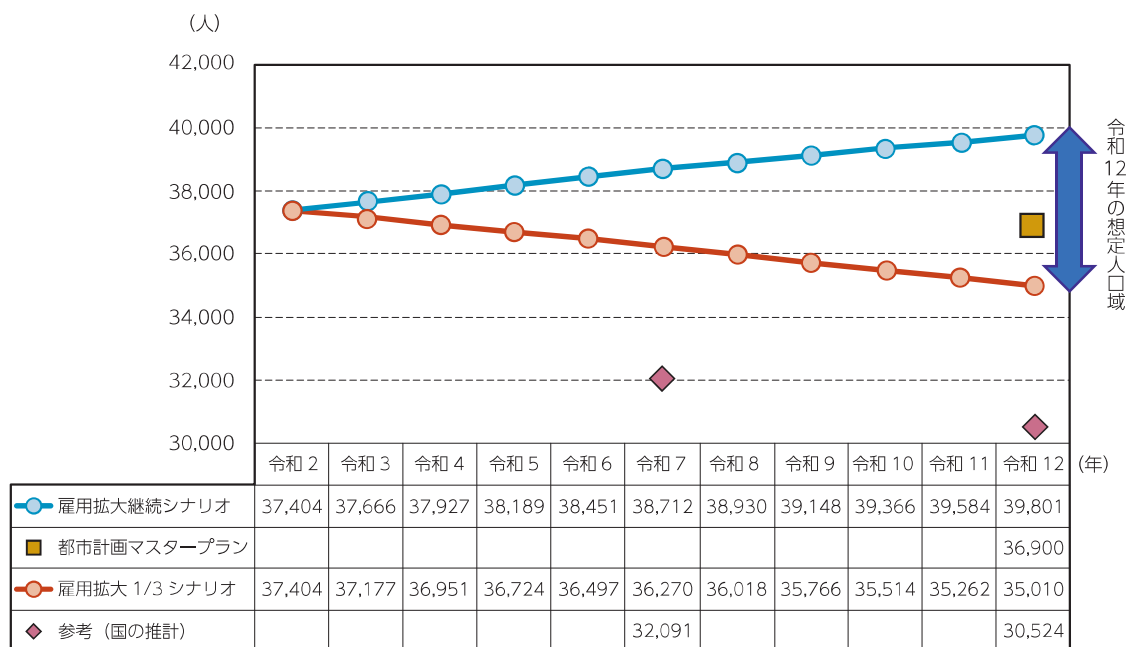
しかし、今後の町内の自動車関連産業の雇用拡大を、平成22年～平成31年のペースを前提にすることは、経営としては楽観すぎる可能性があります。

そこで、「今後も過去10年のような製造業の雇用拡大が続くシナリオ」と「今後は製造業の雇用拡大が過去10年間の1/3となるシナリオ」の間での人口推移を想定したまちづくりを進めていきます。

■令和12年の人口推計

35,010～39,801人を想定

(国が平成30年に推計した本町の令和12年人口は、30,524人)



雇用拡大継続シナリオ・・・製造業の雇用拡大数を、過去10年間と同程度として推計
雇用拡大1/3シナリオ・・・製造業の雇用拡大数を、過去10年間の1/3として推計